



私のひとりごと

「今日はカレーの日」

先日、大阪で建築の勉強会に参加した。午後一時からの開催であるが、その日は悪天候で風も強く、湖西線が止まる可能性もあり朝早く出かける事にした。ところが予測に反し電車は順調に進み、十時には会場近くの駅に着いてしまったのである。何処かで時間をつぶそうと、通りがかったお店のモーニングの看板に誘われて入ることにした。トースト・たまご・コーヒーで300円とお得感はあったが、お店も11時を過ぎると昼食のお客様を向かえる準備に入り、居づらくなった。なので、次の居場所を探す為にウロウロするが、道に迷ってしまいそうで同じ場所を行ったり来たり。結果、何度も顔を合わす店員さんは会釈をしてくれるが、内心「あのオッチャン何してんやろ?」と思われたに違いない。

そうこうしているうちにお昼近くになり、軽い食事の出来る場所を探すと、カウンター席の多いカレー屋さんがあった。「インデアンカレー」と書いてある。インデアンカレーがどういうカレーかは知らないが、気楽に入れそうだ。お店に入るとお姉さんが笑顔で向かえてくれた後、ニンマリとした顔は私は見逃さなかった。違和感を感じながらもカウンターに着くと、隣のお兄ちゃんが鼻水をすすりながら食べている。また、カウンターの中には何人かのお姉さんが居て、まるで向かい合わせて食べるようで、気恥ずかしい感じがしないではない。注文すると早速カレーが出て来たが、皿にライスとルーが半分ずつのイメージではなかった。ちょうど見た目がオムライスのような形で、たまごがルーに替わっている感じた。



これがまさかの激辛とは。。。

「へえ～珍しい形だなあ～」と心の中でつぶやき一口食べると、これが「あま～!」である。まるでシロップをかけた様に甘く、「これはハズレだわ!」と思いつつも食べ続ける。が・・・するとどうだろう、甘さがだんだん辛さに変わり味わうどころではなくなった。汗は出るは、鼻水は出るは、涙まで出はじめた。思わずお姉さんに「何やこれ!」と言ってしまう。すると優しく「初めは甘いですけど、だんだん辛くなるでしょう。」と笑顔で返された。その瞬間謎は解けた。入った時のニンマリとした顔も、鼻水をすすりながら食べるお兄ちゃんも、目の前に居るお姉さんの配置も全ての謎が解けた。一口食べる

ごとにコップ半分の水を飲み、食べ終わる頃には何杯水を飲んだらう・・・。その水を注ぐ為に姉さんの配置が必要だったのである。入った時のニンマリとした顔は、「おっさん何も知らずに入ってきたで～」と心の中でニンマリとしたのが、素直に顔に出たに違いない。ところがその日は、それだけで終わらなかったのである・・・。

夕方、帰りの電車の待ち時間が一時間ほどあった。私は空腹だと乗り物酔いする体質なので、お昼のカレーが胃に残りつつも食事処を探した。私は複数的人数で入る賑やかなお店に、一人で入りづらい気の小さな男である。大きな駅だと一人で気楽に入れる牛丼チェーン店などがあるがその駅には無く、唯一あるのがカウンター席のあるカレー屋さんであった。まさか!普通なら、昼にあんな思いをしてカレーを食べたので入るはずもないが、迷っている間に迫り来る出発時間に背中を押され、何を血迷ったのかそのカレー屋さんに入ってしまった。もはや平常心とは思われない。出てきたのは幸いにして普通のカレーであったが、昼間のお店の腹いせ?か、テーブルの容器に入ったラッキョウをたいらげてしまった。ふと我に返ると店員さんの冷ややかな目線があり、平常心を装いながらレジを済ますのに精一杯である。それにしても、今日はカレーとご縁のある一日であった。

ではまた来月もお会いしましょう。
今月も最後まで読んでいただき・・・、

あーがしう
ございました!!

